

第二部 Application Profile

Title: Application Profile

Creator: 国立国会図書館収集書誌部

Latest Version: <http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/meta/2010/06/application-profile.pdf>

Replaces: <http://www.ndl.go.jp/jp/library/data/meta/2007/05/dcndl.pdf>

Description: 国立国会図書館で使用する情報資源のメタデータ記述について定めた標準的な Application Profile です。デジタルアーカイブシステム等、各システムへの実装の際には別途 Application Profile を作成・公開する場合がございます。

Date Issued: 2010-06-21

Subject: メタデータ

Language: jpn

Format: pdf

目次

1	Application Profile の概要	2
2	使用する語彙の名前空間	4
3	本文の表の読み方	5
4	標準的な語彙の用法に関する規定	6
4.1	情報資源を記述対象とする語彙.....	6
4.1.1	複数の記述に共通して使用する語彙.....	6
4.1.2	タイトルに関する語彙.....	6
4.1.3	作成者に関する語彙.....	15
4.1.4	寄与者に関する語彙.....	20
4.1.5	版に関する語彙.....	21
4.1.6	出版に関する語彙.....	22
4.1.7	主題に関する語彙.....	24
4.1.8	注記等に関する語彙.....	26
4.1.9	日付に関する語彙.....	29
4.1.10	言語に関する語彙.....	35
4.1.11	形態等に関する語彙.....	37
4.1.12	識別に関する語彙.....	40

4.1.13	関係に関する語彙	44
4.1.14	範囲に関する語彙	60
4.1.15	逐次刊行物の特性に関する語彙	62
4.1.16	博士論文の特性に関する語彙	64
4.1.17	雑誌記事の特性に関する語彙	65
4.1.18	デジタル化した資料の特性に関する語彙	69
4.1.19	情報資源の利用・入手に関する語彙	70
4.1.20	その他の語彙	73
4.2	人を記述対象とする語彙	75
4.3	情報資源の個体を記述対象とする語彙	76
4.4	情報資源のメタデータを記述対象とする語彙	79
5	拡張的な語彙の用法に関する規定	81
5.1	情報資源を記述対象とする語彙	81
5.1.1	RDF 形式で表現できない場合に使用する語彙	81
5.2	情報資源のメタデータを記述対象とする語彙	96
5.2.1	NDL のシステム要件による語彙	96

1 Application Profile の概要

Application Profile は、NDL Metadata Terms 及び DCMI により定義された DCMI Metadata Terms を用いた、当館における標準的なメタデータの記述方法を示すものである。値の記述形式、RDF/XML 形式による具体的な表現例、入力レベル等をここで規定する。DC-Library Application Profile (DC-Lib)、Dublin Core Collections Application Profile と同様、必ずしもシステムへの実装に基づかない、抽象化した形で語彙の用法を規定してある。デジタルアーカイブ等、システムへの実装に当たっては、別途 Application Profile を作成・公開する場合がある。

Application Profile では、各語彙の用法を「標準的な語彙の用法」、「拡張的な語彙の用法」の二部に分けて規定する。前者では、図書や雑誌記事等のメタデータを記述する際に一般的な語彙、及び国立国会図書館メタデータ記述で推奨する RDF 形式による記述に適した語彙の用法、後者では、システム上の制約等によって RDF 形式により記述できない場合の語彙、及び当館のメタデータ記述の要件により追加した語彙の用法を示す。

Application Profile では、プロパティの用法を主に記述することとし、語彙符号化スキーム及び構文符号化スキームについては、どのプロパティで使用するかの説明に留めてある。語彙符号化スキーム及び構文符号化スキームの定義や URI 等については、NDL Metadata Terms 及び DCMI Metadata Terms を適宜参照いただきたい。

NDL Metadata Terms と同様、Application Profile でも、プロパティの定義域ごとに、「情報資源を

記述対象とする語彙」、「人を記述対象とする語彙」、「情報資源の個体を記述対象とする語彙」、「情報資源のメタデータを記述対象とする語彙」の四つのカテゴリーを設けている。また、それぞれの定義域のカテゴリーのもとに、語彙の特性に応じて、区分を行っている。

DC-NDL では、「メタデータ」、「個体データ」、「メタ・メタデータ」の三層構造とし、各データの間をリンクするというデータモデルをとっている。「個体データ」では、各図書館等で所蔵する資料(FRBRのItemレベルに相当)に関する情報の記述、「メタ・メタデータ」はメタデータに関する情報の記述をそれぞれ行う。「メタデータ」、「個体データ」、「メタ・メタデータ」の記述に使用する語彙は、それぞれ「情報資源を記述対象とする語彙」、「情報資源の個体を記述対象とする語彙」、「情報資源のメタデータを記述対象とする語彙」に示すこととする。

当館のデジタルアーカイブシステム等では、雑誌のメタデータをタイトルレベル、巻号レベル、記事レベルの三階層で保持している。巻号レベル、記事レベルの情報を記述する際には、「雑誌記事の特性に関する語彙」を使用する。

非デジタル化資料をデジタル化した資料のメタデータには、基本的にデジタル化資料そのものの情報を記述する。ただし、利用者の便を考慮し、Issued、Publisher 等については、原資料の情報をそのまま採用することとする。デジタル化資料のメタデータで、原資料の情報を採用する語彙については、各使用法にその旨を記載する。

各語彙の用法には、できる限り記述の具体例を付したが、国立国会図書館におけるより具体的な適用例は、各システムの実データを参照のこと。

入力レベルの目安を示したが、各語彙の採否については問わない。また出現順序、繰り返し(最大出現回数及び最小出現回数)については原則として制約を設けない。

2 Application Profile で使用する語彙の名前空間

Application Profile で使用する語彙の名前空間の名称 (Namespace Name) を以下に示す。

語彙 (Vocabulary Title)	名前空間名 (Namespace Name)	接頭辞 (Prefix)
Dublin Core Metadata Terms	http://purl.org/dc/terms/	dcterms
DCMI Abstract Model	http://purl.org/dc/dcam/	dcam
Dublin Core Type Vocabulary	http://purl.org/dc/dcmitype/	dcmitype
FOAF Vocabulary	http://xmlns.com/foaf/0.1/	foaf
NDL Metadata Terms	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/	dcndl
NDL Type Vocabulary	http://ndl.go.jp/ndltype/	ndltype
RDF Vocabulary	http://www.w3.org/1999/02/22-rdf-syntax-ns	rdf
RDF Schema Vocabulary	http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema	rdfs
OWL Web Ontology Language	http://www.w3.org/2002/07/owl	owl

3 本文の表の読み方

本章では、各語彙に関する主な事項を表の形で示す。事項の種類、用語等については、以下の凡例に示す。

(凡例)

語彙の名前 [QName]

プロパティ URI (Property URI)	当該プロパティを表す、参照先となる URI を示す。
QName (Qualified Name for Property)	接頭辞と語彙の組み合わせによって、プロパティ URI の短縮形を表す。 (例: dcndl:transcription)
定義の発生源 (Defined by)	プロパティの定義元を URI で示す。
語彙のタイプ	語彙のタイプを記す。
表示名 (Label)	利用者の理解を助けるために与える短い表示名 (Label)。利用の場面において、この表示名の採用を求めるものではない。 Application Profile では、当該語彙 (Property) が NDL Metadata Terms で独自に定義したものでなければ、原則として定義元によって与えられた Label をそのまま採用する。
使用法 (Usage in Application Profile)	Application Profile における使用法を記す。元の定義については、Dublin Core Metadata Terms、及び NDL Metadata Terms をそれぞれ参照のこと。
補足説明 (Comment for Usage in Application Profile)	「使用法」の詳細・補足説明等を記す。
語彙符号化スキームの使用 (Uses Vocabulary Encoding Scheme)	当該語彙に使用する語彙符号化スキーム (Vocabulary Encoding Scheme) を示す。 語彙符号化スキームは、必要に応じて使用する。各語彙における語彙符号化スキームの採否、出現順序、繰返しについては、Application Profile では制約を設けない。
値 (Value) の記述形式	プロパティ (Property) の値 (Value) の記述形式を示す。URI (Value URI) による記述、任意の文字列 (Value String) による記述、構文符号化スキーム (Syntax Encoding Scheme) による記述、入れ子による記述 (Rich Representation) がそれぞれ可能であるかどうか記す。 入れ子による記述とは、RDF 形式を用い、構造化グラフとして表現することを指す。 また、記述形式に制約がある場合はここに示す。
表現例 (RDF/XML)	RDF/XML 形式による表現例を示す。「△」はスペースを意味する。
入力レベル (Obligation)	DC-NDL における記述の入力レベルの目安を、「必須」、「あれば必須」、「推奨」、「選択」の 4 段階で示す。

4 標準的な語彙の用法に関する規定

4.1 情報資源を記述対象とする語彙

4.1.1 複数の記述に共通して使用する語彙

Transcription [dcndl:transcription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/transcription											
QName	dcndl:transcription											
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Transcription											
使用法	当該情報資源の読み又は翻字形をここに収める。											
補足説明	Title、Creator 等の値とセットで表現する。ある一つの値に対し、読みが複数ある場合は Transcription を繰り返す。											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									
表現例 (RDF/XML)	<pre> <dcterms:title> <rdf:Description> <rdf:value>セマンティック HTML/XHTML</rdf:value> <dcndl:transcription>セマンティック HTML XHTML</dcndl:transcription> <dcndl:transcription>セマンティック エイチティーエムエル エックスエイチ ティーエムエル</dcndl:transcription> </rdf:Description> </dcterms:title> </pre>											
入力レベル	推奨											

4.1.2 タイトルに関する語彙

Title [dcterms:title]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/title
QName	dcterms:title
定義の発生源	DCMI Metadata Terms

	http://purl.org/dc/terms/											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Title											
使用法	当該情報資源のタイトルをここに収める。											
補足説明	<p>タイトル関連情報(サブタイトル等)がある場合は、ISBD 区切り記号を用いて連結し、ここに収める。</p> <p>タイトル及びタイトル関連情報に読みがある場合は、Transcription を用い、Title の値とセットで表現する。Title が複数ある場合は、値と読みのセットを繰り返す。</p> <p>並列タイトル(本タイトルの別言語又は別文字による表示形)を表現する場合は Alternative、シリーズタイトルを表現する場合は Series Title、多巻ものの各巻タイトル又は逐次刊行物の部編名を表現する場合は Volume Title、内容細目(単行レベルの構成部分である各著作のタイトル)を表現する場合は Part Title のプロパティをそれぞれ使用する。</p>											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	可									
表現例(RDF/XML)	<pre> <dcterms:title> <rdf:Description> <rdf:value>知識はわれらを豊かにする△:△国立国会図書館が果たす新しい役割△:△国立国会図書館開館 60 周年記念シンポジウム記録集 </rdf:value> <dcndl:transcription>チシキ ワ ワレラ オ ユタカ ニ スル△:△コクリツ コッカイトショカン ガ ハタス アタラシイ ヤクワリ△:△コクリツ コッカイト ショカン カイカン 60 シュウネン キネン シンポジウム キロクシュウ </dcndl:transcription> </rdf:Description> </dcterms:title> </pre>											
入力レベル	必須											

Alternative [dcterms:alternative]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/alternative											
QName	dcterms:alternative											
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Alternative											
使用法	並列タイトル(本タイトルの別言語又は別文字による表示形)をここに収める。											
補足説明	並列タイトル関連情報(サブタイトル等)がある場合は、ISBD 区切り記号を用いて連結し、ここに収める。 並列タイトル及び並列タイトル関連情報に読みがある場合は、Transcriptionを用い、Alternative の値とセットで表現する。Alternative が複数ある場合は、値と読みのセットを繰り返す。											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </tbody> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	可									
表現例 (RDF/XML)	<pre> <dcterms:title> <rdf:Description> <rdf:value>The universe with extra dimensions Δ:Δ From Kaluza-Klein perspective to brane world</rdf:value> </rdf:Description> </dcterms:title> <dcterms:alternative> <rdf:Description> <rdf:value>余次元をもった宇宙 Δ:Δ カルツァークライン的描像からブレーンワールドへ</rdf:value> <dcndl:transcription>ヨジゲン オ モッタ ウチュウ Δ:Δ カルツァー クラインテキ ビョウゾウ カラ ブレーン ワールド エ </dcndl:transcription> </rdf:Description> </dcterms:alternative> </pre>											
入力レベル	推奨											

Series Title [dcndl:seriesTitle]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/seriesTitle										
QName	dcndl:seriesTitle										
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Series Title										
使用法	シリーズタイトルをここに収める。										
補足説明	<p>シリーズタイトル関連情報・巻次又は部編番号・部編名がある場合は、ISBD区切り記号を用いて連結し、ここに収めるのが望ましい。</p> <p>シリーズタイトル及びその他の関連する情報に読みがある場合は、Transcriptionを用い、Series Titleの値とセットで表現する。連結した読みのうち、いずれかの情報の読みだけが複数ある場合は、その読みのみ、Transcriptionを用いて繰り返す。</p>										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URIによる記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </tbody> </table>			URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	可								
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcndl:seriesTitle> <rdf:Description> <rdf:value>岩波講座現代の教育△:△危機と改革△;△第1巻</rdf:value> <dcndl:transcription>イワナミ コウザ ゲンダイ ノ キョウイク△:△キキ ト カイカク△;△1</dcndl:transcription> </rdf:Description> </dcndl:seriesTitle></pre>										
入力レベル	推奨										

Series Alternative [dcndl:seriesAlternative]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/seriesAlternative
QName	dcndl:seriesAlternative
定義の発生源	NDL Metadata Terms

	http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Series Alternative											
使用法	並列シリーズタイトル(シリーズタイトルの別言語又は別文字の表示形)をここに収める。											
補足説明	並列シリーズタイトルに読みがある場合は、Transcription を用い、Series Alternative の値とセットで表現する。Series Alternative が複数ある場合は、値と読みのセットを繰り返す。											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URIによる記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </tbody> </table>				URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	可									
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcndl:seriesTitle> <rdf:Description> <rdf:value>ASEM の将来△:△Asia-Europe meeting△;△1</rdf:value> <dcndl:transcription>ASEM ノ ショウライ</dcndl:transcription> </rdf:Description> </dcndl:seriesTitle> <dcndl:seriesAlternative> <rdf:Description> <rdf:value>ASEM's future</rdf:value> </rdf:Description> </dcndl:seriesAlternative></pre>											
入力レベル	推奨											

Part Title [dcndl:partTitle]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/partTitle
QName	dcndl:partTitle
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Part Title

使用法	内容細目(単行書の構成レベルに相当する各著作)のタイトルをここに収める。								
補足説明	<p>内容細目のタイトルに付随する情報として、巻次等がある場合は、連結してここに収めるのが望ましい。</p> <p>内容細目のタイトル及びその他の関連する情報に読みがある場合は、Transcription を用い、Part Title の値とセットで表現する。連結した読みのうち、いずれかの情報の読みだけが複数ある場合は、その読みのみ、Transcription を用いて繰り返す。</p> <p>また、内容細目の記述に関して注記を行う必要がある場合は、dcterms:description を用い、Part Title の値・読みとセットにして表現することができる。</p>								
語彙符号化スキームの使用	指定しない								
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </table>	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
不可	可	不可	可						
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcndl:partTitle> <rdf:Description> <rdf:value>Philosophical transactions.△v. 9</rdf:value> </rdf:Description> </dcndl:partTitle></pre>								
入力レベル	推奨								

Volume Title [dcndl:volumeTitle]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/volumeTitle
QName	dcndl:volumeTitle
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Volume Title
使用法	<p>多巻もののタイトルを Title に採用した場合、各巻のタイトルはここに収める。</p> <p>また、一つの逐次刊行物が部又は編に分かれて刊行される時、その部又は編に付けられたタイトルもここに収める。</p>

補足説明	<p>各巻タイトルに、各巻並列タイトル・各巻タイトル関連情報等が付随する場合、ISBD 区切り記号を用いて連結し、ここに収めるのが望ましい。</p> <p>各巻タイトル及びその他の関連する情報、又は逐次刊行物の部編名に読みがある場合は、Transcription を用い、Volume Title の値とセットで表現する。連結した読みのうち、いずれかの情報の読みだけが複数ある場合は、その読みのみ、Transcription を用いて繰り返す。</p> <p>また、各巻タイトルの記述に関して注記を行う必要がある場合は、dcterms:description を用い、Volume Title の値・読みとセットにして表現することができる。</p>								
語彙符号化スキームの使用	指定しない								
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </table>	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
不可	可	不可	可						
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcndl:volumeTitle> <rdf:Description> <rdf:value>近畿.△2 三重・和歌山・大阪・兵庫</rdf:value> <dcndl:transcription>キンキ.△2 ミエ ワカヤマ オオサカ ヒョウゴ </dcndl:transcription> </rdf:Description> </dcndl:volumeTitle></pre>								
入力レベル	推奨								

Volume [dcndl:volume]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/volume
QName	dcndl:volume
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Volume
使用法	当該情報資源の巻次又は部編番号をここに収める。

補足説明	<p>巻次又は部編番号に読みがある場合は、Transcription を用い、Volume の値とセットで表現する。</p> <p>Title が複数ある場合は、どのタイトルに対応する Volume であるのか示すために、Title に連結して収めることができる。</p>											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	可									
表現例 (RDF/XML)	<pre> <dcndl:volume> <rdf:Description> <rdf:value>資料編 中世 2 補遺</rdf:value> <dcndl:transcription> シリョウヘン チュウセイ 2 ホイ </dcndl:transcription> </rdf:Description> </dcndl:volume > </pre>											
入力レベル	推奨											

AlternativeVolume [dcndl:alternativeVolume]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/alternativeVolume
QName	dcndl:alternativeVolume
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Alternative Volume
使用法	並列タイトル部編番号をここに収める。Alternative Title を記録する際、Alternative Title の言語と同一の部編番号表記があればそれを収める。
補足説明	<p>以下のような場合に並列タイトル部編番号を使用する。</p> <p>タイトル： 農業技術研究所報告 部編番号： A 部編名： 物理統計</p>

	<p>並列タイトル: Bulletin of the National Institute of Agricultural Sciences 並列タイトル部編番号: Series A 並列タイトル部編名: Physics and statistics</p> <p>並列タイトル部編番号に読みがある場合は、Transcription を用い、Alternative Volume の値とセットで表現する。</p>								
語彙符号化スキームの使用	指定しない								
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </table>	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
不可	可	不可	可						
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcndl:alternativeVolume> <rdf:Description> <rdf:value>Series A</rdf:value> </rdf:Description> </dcndl:alternativeVolume></pre>								
入力レベル	選択								

Alternative Volume Title [dcndl:alternativeVolumeTitle]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/alternativeVolumeTitle
QName	dcndl:alternativeVolumeTitle
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Alternative Volume Title
使用法	並列タイトル部編名をここに収める。Alternative Title を記録する際、Alternative Title の言語と同一の部編名表記があればそれを収める。
補足説明	並列タイトル部編名を使用する場合には、AlternativeVolume の補足説明を参照。 並列タイトル部編名に読みがある場合は、Transcription を用い、Alternative Volume Title の値とセットで表現する。
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	可
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcndl:alternativeVolumeTitle> <rdf:Description> <rdf:value>Physics and statistics</rdf:value> </rdf:Description> </dcndl:alternativeVolumeTitle></pre>			
入力レベル	選択			

4.1.3 作成者に関する語彙

Creator [dcterms:creator]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/creator
QName	dcterms:creator
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Creator
使用法	当該情報資源に著作責任を持つ作成者をここに収める。役割表示(著、編、訳、等)を記録する際は、ここに収める。
補足説明	<p>役割表示を収める場合は、その前にスペースを置き、作成者と連結する。(表現例(1)を参照)</p> <p>また、作成者に世系や生没年等の関連する情報がある場合も、ここに連結して収める。(表現例(2)を参照)</p> <p>作成者に読みがある場合は、Transcriptionを用い、Creatorの値とセットで表現する。Creatorが複数ある場合は、値と読みのセットを繰り返す。</p> <p>作成者がURIによって識別できる場合は、リソースへのURI参照を行うのが望ましい。(表現例(3)を参照)</p> <p>国立国会図書館名称標目 (NDLNH)の表現には、以下のURIを使用することができる。</p> <p>NDLNH: http://id.ndl.go.jp/auth/ndlnh/値</p> <p>URIを用いた表現を推奨するが、語彙符号化スキームを使用することも可能である。(表現例(4)を参照)</p>

	<p>なお、作成者の別名又は異なる形を表現する場合は Creator Alternative、シリーズに対し著作責任を持つ作成者を表現する場合は Series Creator、多巻ものの各巻又は逐次刊行物の部編に対し著作責任を持つ作成者を表現する場合は Volume Creator、単行レベルの構成部分である各著作に対し著作責任を持つ作成者を表現する場合は Part Creator のプロパティをそれぞれ使用する。</p> <p>ただし、これらの作成者が URI を持つ場合は、Creator に収め、リソースへの URI 参照を行うこととする。</p>								
語彙符号化スキームの使用	<p>dcndl:NDLNH, NDL Metadata Terms</p> <p>http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NDLNH</p>								
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </tbody> </table>	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
可	可	不可	可						
表現例 (RDF/XML)	<p>表現例(1)</p> <pre><dcterms:creator> <foaf:Agent> <foaf:name>夏目漱石△著</foaf:name> <dcndl:transcription>ナツメ ソウセキ</dcndl:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:creator></pre> <p>表現例(2)</p> <pre><dcterms:creator> <foaf:Agent> <foaf:name>Pius△12 世,△1876-1958</foaf:name> <dcndl:transcription>ピオ</dcndl:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:creator></pre> <p>表現例(3)</p> <pre><dcterms:creator rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/auth/ndlnh/00542984" rdfs:label="Pius△(12 世△1876-1958△教皇)" /></pre> <p>表現例(4)</p>								

	<pre><dcterms:creator> <rdf:Description> <dcam:memberOf rdf:resource="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NDLNH"/> <rdf:value>夏目漱石</rdf:value> </rdf:Description> </dcterms:creator></pre>
入力レベル	あれば必須

Creator Alternative [dcndl:creatorAlternative]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/creatorAlternative								
QName	dcndl:creatorAlternative								
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms								
語彙のタイプ	プロパティ								
表示名	Creator Alternative								
使用法	Creator の別言語又は別文字による表示形や、フルネームに対する略称・現在の名称に対する旧称等をここに収める。								
補足説明	<p>国立国会図書館ダブリンコアメタデータ記述要素(2007年5月)では、「名称の標目形(統一した形)と記述形(情報そのものに記載されている形)を記録する場合には、標目形を Creator として記録し、記述形を Creator Alternative に記録することが望ましい。」としているが、今回の改訂以後は標目形、記述形いずれも Creator に収めることとし、エンコーディングスキーム・リソースの URI 参照の有無により、両者を識別する。</p> <p>読みがある場合は、Transcription を用い、Creator Alternative の値とセットで表現する。Creator Alternative が複数ある場合は、値と読みのセットを繰り返す。</p>								
語彙符号化スキームの使用	dcndl:NDLNH, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NDLNH								
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </tbody> </table>	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
不可	可	不可	可						
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcterms:creator> <foaf:Agent></pre>								

	<pre> <foaf:name>国立国会図書館</foaf:name> <dcndl:transcription>コクリツ コツカイ トショカン</dcndl:transcription> </foaf:Agent> </dcterms:creator> <dcndl:creatorAlternative> <foaf:Agent> <foaf:name>National Diet Library</foaf:name> </foaf:Agent> </dcndl:creatorAlternative> </pre>
入力レベル	推奨

Series Creator [dcndl:seriesCreator]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/seriesCreator										
QName	dcndl:seriesCreator										
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Series Creator										
使用法	シリーズに対し著作責任を持つ作成者をここに収める。										
補足説明	<p>役割表示を収める場合は、その前にスペースを置き、作成者と連結するのが望ましい。</p> <p>読みがある場合は、Transcriptionを用い、Series Creatorの値とセットで表現する。Series Creatorが複数ある場合は、値と読みのセットを繰り返す。</p>										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URIによる記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </tbody> </table>			URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	可								
表現例 (RDF/XML)	Creatorの表現例(1)を参照。										
入力レベル	推奨										

Part Creator [dcndl:partCreator]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/partCreator										
QName	dcndl:partCreator										
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Part Creator										
使用法	Part Title の記述対象である内容細目に対し、著作責任を持つ作成者をここに収める。										
補足説明	役割表示を収める場合は、その前にスペースを置き、作成者と連結するのが望ましい。 読みがある場合は、Transcription を用い、Part Creator の値とセットで表現する。Part Creator が複数ある場合は、値と読みのセットを繰り返す。										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </tbody> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	可								
表現例 (RDF/XML)	Creator の表現例(1)を参照。										
入力レベル	推奨										

Volume Creator [dcndl:volumeCreator]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/volumeCreator		
QName	dcndl:volumeCreator		
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms		
語彙のタイプ	プロパティ		
表示名	Volume Creator		
使用法	Volume Title の記述対象である巻又は部編に対し、著作責任を持つ作成者をここに収める。		
補足説明	役割表示を収める場合は、その前にスペースを置き、作成者と連結するのが望ましい。		

	読みがある場合は、Transcription を用い、Volume Creator の値とセットで表現する。Volume Creator が複数ある場合は、値と読みのセットを繰り返す。								
語彙符号化スキームの使用	指定しない								
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </table>	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
不可	可	不可	可						
表現例 (RDF/XML)	Creator の表現例(1)を参照。								
入力レベル	推奨								

4.1.4 寄与者に関する語彙

Contributor [dcterms:contributor]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/contributor
QName	dcterms:contributor
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Contributor
使用法	当該情報資源の成立に何らかの寄与、貢献をした実体をここに収める。
補足説明	<p>国立国会図書館ダブリンコアメタデータ記述要素(2007年5月)では「情報資源への間接的な関与者(編集者等)は Contributor に収める。」とあるが、今回の改訂以後は、編集者等、著作の成立に対し、関与の大きい実体は Creator に収めることとする。Contributor には、Creator 及び Publisher に入らないが、当該情報資源の成立に何らかの寄与、貢献をしたと考えられる実体のみを収める。</p> <p>関与者に読みがある場合は、Transcription を用い、Contributor の値とセットで表現する。Contributor が複数ある場合は、値と読みのセットを繰り返す。</p>
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	可
表現例 (RDF/XML)				
入力レベル	選択			

4.1.5 版に関する語彙

Edition [dcndl:edition]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/edition			
QName	dcndl:edition			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Edition			
使用法	版・バージョンに関する情報をここに収める。			
補足説明	<p>版・バージョンに関する情報に読みがある場合は、Transcription を用い、Edition の値とセットで表現する。Edition が複数ある場合は、値と読みのセットを繰り返す。</p> <p>当該情報資源以前の版の URI・識別子がある場合は、Is Version Of に収める。また、当該情報資源以降の版の URI・識別子がある場合は、Has Version に収める。</p>			
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	可
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcndl:edition> <rdf:Description> <rdf:value>改訂新版</rdf:value> </rdf:Description></pre>			

	</dcndl:edition>
入力レベル	推奨

Edition Creator [dcndl:editionCreator]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/editionCreator										
QName	dcndl:editionCreator										
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Edition Creator										
使用法	当該情報資源が属する版の成立のみに関係する実体をここに収める。										
補足説明	読みがある場合は、Transcription を用い、Edition Creator の値とセットで表現する。Edition Creator が複数ある場合は、値と読みのセットを繰り返す。										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	可								
表現例 (RDF/XML)	Creator の表現例(1)を参照。										
入力レベル	推奨										

4.1.6 出版に関する語彙

Publisher [dcterms:publisher]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/publisher		
QName	dcterms:publisher		
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/		
語彙のタイプ	プロパティ		
表示名	Publisher		
使用法	出版者・頒布者に関する情報をここに収める。		

補足説明	<p>読みがある場合は、Transcription を用い、Publisher の値とセットで表現する。Publisher が複数ある場合は、値と読みのセットを繰り返す。</p> <p>また、付記事項がある場合は、Description を用い、Publisher の値・読みとセットにして表現することができる。</p> <p>非デジタル化資料をデジタル化した情報資源について記述する場合、原資料の出版者・頒布者を Publisher に収める。デジタル化資料の作成者・公開者については、Digitized Publisher に収めることとする。</p>								
語彙符号化スキームの使用	指定しない								
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </table>	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
不可	可	不可	可						
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcterms:publisher> <foaf:Agent> <foaf:name>講談社</foaf:name> <dcndl:transcription>コウダンシャ</dcndl:transcription> <dcndl:description>発売</dcndl:description> </foaf:Agent> </dcterms:publisher></pre>								
入力レベル	推奨								

Publication Place [dcndl:publicationPlace]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/publicationPlace
QName	dcndl:publicationPlace
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Publication Place
使用法	出版地・頒布地に関する情報をここに収める。
補足説明	出版地・頒布地の国名コードがある場合は、構文符号化スキームを用いて表現するのが望ましい。(表現例(2)を参照)
語彙符号化スキーム	指定しない

ムの使用				
値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	dcterms:ISO3166	可
表現例 (RDF/XML)	<p>表現例(1)</p> <pre><dcndl:publicationPlace> <dcterms:Location> <rdf:value>東京</rdf:value> </dcterms:Location> </dcndl:publicationPlace></pre> <p>表現例(2)</p> <pre><dcndl:publicationPlace> <dcterms:Location> <rdf:value rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/ISO3166">jp</rdf:value> </dcterms:Location> </dcndl:publicationPlace></pre>			
入力レベル	推奨			

4.1.7 主題に関する語彙

Subject [dcterms:subject]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/subject
QName	dcterms:subject
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Subject
使用法	当該情報資源の内容を表す統制語彙、分類記号、フリーキーワードをここに収める。
補足説明	統制語彙、分類記号の表現には、以下の語彙符号化スキームを使用する。 (表現例(1)を参照) 国立国会図書館件名標目表 (NDLSH)、国立国会図書館分類表 (NDLC)、

	<p>日本十進分類法(NDC)新訂 9 版、国立国会図書館名称標目(NDLNH)については、NDLSH の提供システムである「Web NDLSH (http://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh)」等で定義した URI を用いて表現することを推奨する。(表現例(2)を参照)。使用する URI は、以下のとおりである。</p> <p>NDLSH: http://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/ID NDLC: http://id.ndl.go.jp/class/ndlc/値 NDC9 版: http://id.ndl.go.jp/class/ndc9/値 NDLNH: http://id.ndl.go.jp/auth/ndlnh/ID</p> <p>語彙符号化スキームや URI を持たないフリーキーワードについては、任意の文字列で記述する。</p>
<p>語彙符号化スキームの使用</p>	<p>dcndl:BSH, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/BSH dcndl:GHQSCAP, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/GHQSCAP dcndl:MCJ, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/MCJ dcndl:NDC, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NDC dcndl:NDC8, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NDC8 dcndl:NDC9, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/ndc9/ dcndl:NDLC, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/ndlc dcndl:NDLNH, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NDLNH dcndl:NDLSH, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/ndlsh dcndl:NIISubject, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NIISubject dcndl:USCAR, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/USCAR dcterms:DDC, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/DDC dcterms:LCC, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/LCC</p>

	dcterms:LCSH, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/LCSH dcterms:MESH, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/MESH dcterms:NLM, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/NLM dcterms:UDC, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/UDC											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
可	可	不可	可									
表現例 (RDF/XML)	表現例(1) <dcterms:subject> <rdf:Description> <dcam:memberOf rdf:resource="http://purl.org/dc/terms/BSH"/> <rdf:value>インターネット</rdf:value> </rdf:Description> </dcterms:subject> 表現例(2) <dcterms:subject rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/00573385" rdfs:label="図書館"/>											
入力レベル	推奨											

4.1.8 注記等に関する語彙

Description [dcterms:description]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/description
QName	dcterms:description
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Description

使用法	当該情報資源に関する注記をここに収める。											
補足説明	注記の内容を識別するために、導入句を付けて記述することができる。											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URIによる記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									
表現例(RDF/XML)	<dcterms:description>システム要件:Windows3.1</dcterms:description>											
入力レベル	選択											

Abstract [dcterms:abstract]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/abstract											
QName	dcterms:abstract											
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Abstract											
使用法	当該情報資源の要約・抄録等をここに収める。											
補足説明												
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URIによる記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									
表現例(RDF/XML)	<dcterms:abstract>リュックサックをしょって水筒を下げた野ねずみのぐりとぐらは、林を通り抜け野原へ行きました。2匹がくまと出会う楽しい話。 </dcterms:abstract>											

入力レベル	選択
-------	----

Table Of Contents [dcterms:tableOfContents]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/tableOfContents										
QName	dcterms:tableOfContents										
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Table Of Contents										
使用法	当該情報資源の目次情報をここに収める。										
補足説明											
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </tbody> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	可								
表現例 (RDF/XML)	<p>表現例(1) 目次から一次情報へのリンクがある場合</p> <pre><dcterms:tableOfContents> <rdf:Seq> <rdf:li rdf:resource="目次の一次情報 URI" rdfs:label="目次情報 1"/> <rdf:li rdf:resource="目次の一次情報 URI" rdfs:label="目次情報 2"/> <rdf:li rdf:resource="目次の一次情報 URI" rdfs:label="目次情報 3"/> </rdf:Seq> </dcterms:tableOfContents></pre> <p>表現例(2) 一次情報へのリンクがない場合</p> <pre><dcterms:tableOfContents> <rdf:Seq> <rdf:li>目次情報 1</rdf:li> <rdf:li>目次情報 2</rdf:li> <rdf:li>目次情報 3</rdf:li> </rdf:Seq></pre>										

	</dcterms:tableOfContents>
入力レベル	選択

4.1.9 日付に関する語彙

Date [dcterms:date]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/date										
QName	dcterms:date										
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Date										
使用法	当該情報資源のライフサイクルにおける何らかの事象の日付をここに収める。適切な下位プロパティがある場合は、そちらに収める。										
補足説明	構文符号化スキーム W3C-DTF を用いて表現するのが望ましい。(表現例(2)参照)										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>dcterms:W3CDTF</td> <td>不可</td> </tr> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	dcterms:W3CDTF	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	dcterms:W3CDTF	不可								
表現例 (RDF/XML)	表現例(1) <dcterms:date>2010年6月</dcterms:date> 表現例(2) <dcterms:date rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/W3CDTF">2010-06</dcterms:date>										
入力レベル	推奨										

Available [dcterms:available]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/available
QName	dcterms:available

定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Available										
使用法	利用可能日(利用可能期間)をここに収める。										
補足説明	構文符号化スキーム W3C-DTF を用いて表現するのが望ましい。										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>dcterms:Period dcterms:W3CDTF</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	dcterms:Period dcterms:W3CDTF	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	dcterms:Period dcterms:W3CDTF	不可								
表現例(RDF/XML)	Date の表現例を参照。										
入力レベル	推奨										

Created [dcterms:created]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/created
QName	dcterms:created
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Created
使用法	当該情報資源の作成日をここに収める。
補足説明	非デジタル化資料をデジタル化した情報資源について記述する場合、デジタル化した日付は Date Digitized に収める。 構文符号化スキーム W3C-DTF を用いて表現するのが望ましい。(表現例(2)参照)
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	dcterms:W3CDTF	不可
表現例 (RDF/XML)	Date の表現例を参照。			
入力レベル	推奨			

Date Accepted [dcterms:dateAccepted]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/dateAccepted			
QName	dcterms:dateAccepted			
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Date Accepted			
使用法	論文や記事などの受理日をここに収める。			
補足説明	構文符号化スキーム W3C-DTF を用いて表現するのが望ましい。			
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	dcterms:W3CDTF	不可
表現例 (RDF/XML)	Date の表現例を参照。			
入力レベル	選択			

Date Captured [dcndl:dateCaptured]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/dateCaptured			
QName	dcndl:dateCaptured			
定義の発生源	NDL Metadata Terms			

	http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Date Captured											
使用法	当該情報資源を採取・保存した日をここに収める。											
補足説明	構文符号化スキーム W3C-DTF を用いて表現するのが望ましい。											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>dcterms:W3CDTF</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	dcterms:W3CDTF	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	dcterms:W3CDTF	不可									
表現例 (RDF/XML)	Date の表現例を参照。											
入力レベル	選択											

Date Copyrighted [dcterms:dateCopyrighted]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/dateCopyrighted											
QName	dcterms:dateCopyrighted											
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Date Copyrighted											
使用法	著作権が発効した日をここに収める。											
補足説明	構文符号化スキーム W3C-DTF を用いて表現するのが望ましい。											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>dcterms:W3CDTF</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	dcterms:W3CDTF	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	dcterms:W3CDTF	不可									

表現例 (RDF/XML)	Date の表現例を参照。
入力レベル	推奨

Date Submitted [dcterms:dateSubmitted]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/dateSubmitted										
QName	dcterms:dateSubmitted										
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Date Submitted										
使用法	論文や記事などの提出日をここに収める。										
補足説明	構文符号化スキーム W3C-DTF を用いて表現するのが望ましい。										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>dcterms:W3CDTF</td> <td>不可</td> </tr> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	dcterms:W3CDTF	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	dcterms:W3CDTF	不可								
表現例 (RDF/XML)	Date の表現例を参照。										
入力レベル	選択										

Issued [dcterms:issued]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/issued		
QName	dcterms:issued		
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/		
語彙のタイプ	プロパティ		
表示名	Issued		
使用法	当該情報資源の出版年月日をここに収める。		

補足説明	非デジタル化資料をデジタル化した情報資源について記述する場合、Issued には原資料の出版年月日をここに収めることとする。 構文符号化スキーム W3C-DTF を用いて表現するのが望ましい。											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>dcterms:W3CDTF</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	dcterms:W3CDTF	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	dcterms:W3CDTF	不可									
表現例 (RDF/XML)	Date の表現例を参照。											
入力レベル	あれば必須											

Modified [dcterms:modified]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/modified											
QName	dcterms:modified											
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Modified											
使用法	当該情報資源の更新日をここに収める。											
補足説明	構文符号化スキーム W3C-DTF を用いて表現するのが望ましい。											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>dcterms:W3CDTF</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	dcterms:W3CDTF	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	dcterms:W3CDTF	不可									
表現例 (RDF/XML)	Date の表現例を参照。											
入力レベル	推奨											

Valid [dcterms:valid]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/valid										
QName	dcterms:valid										
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Valid										
使用法	有効期限(有効期間)をここに収める。たとえば、法律の発効に関する日付や、イベントの開催期間などをここに収める。										
補足説明	構文符号化スキーム W3C-DTF を用いて表現するのが望ましい。										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>dcterms:W3CDTF</td> <td>不可</td> </tr> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	dcterms:W3CDTF	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	dcterms:W3CDTF	不可								
表現例 (RDF/XML)	Date の表現例を参照。										
入力レベル	選択										

4.1.10 言語に関する語彙

Language [dcterms:language]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/language		
QName	dcterms:language		
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/		
語彙のタイプ	プロパティ		
表示名	Language		
使用法	当該情報資源の記述言語をここに収める。		
補足説明	ISO639-2 の構文符号化スキームを用いるのが望ましい。		

語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	dcterms:ISO639-2 dcterms:RFC1766 dcterms:RFC3066	不可
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcterms:language> <dcterms:LinguisticSystem> <rdf:value rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/ISO639-2">JPN</rdf:value> </dcterms:LinguisticSystem> </dcterms:language></pre>			
入力レベル	推奨			

Original Language [dcndl:originalLanguage]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/originalLanguage
QName	dcndl:originalLanguage
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Original Language
使用法	当該情報資源が翻訳・翻案等である時、原文の言語をここに収める。
補足説明	ISO639-2 の構文符号化スキームを用いるのが望ましい。
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	dcterms:ISO639-2 dcterms:RFC1766 dcterms:RFC3066	不可
表現例 (RDF/XML)	Language の表現例を参照。			
入力レベル	推奨			

4.1.11 形態等に関する語彙

Format [dcterms:format]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/format			
QName	dcterms:format			
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Format			
使用法	当該情報資源の物理的形態又はデジタル形態での表現形式をここに収める。			
補足説明	Internet Media Types (MIME) の統制語から選択し、ここに収めるのが望ましい。より適切な下位属性のプロパティがある場合は、そちらに収める。			
語彙符号化スキームの使用	dcterms:IMT, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/IMT			
値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcterms:format> <rdf:Description> <dcam:memberOf rdf:resource="http://purl.org/dc/terms/IMT"/> <rdf:value>json</rdf:value></pre>			

	</rdf:Description> </dcterms:format>
入力レベル	選択

Extent [dcterms:extent]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/extent										
QName	dcterms:extent										
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Extent										
使用法	当該情報資源のページ数、大きさ、付属資料、ファイル容量等、形態に関する情報をここに収める。										
補足説明	複数の形態に関する情報を表現する必要がある場合は、ISBD 区切り記号を使用して連結し、ここに収める。										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </tbody> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	可								
表現例 (RDF/XML)	<dcterms:extent> <dcterms:SizeOrDuration> <rdf:value>120p△;△22cm△+△CD-ROM1 枚(12cm)</rdf:value> </dcterms:SizeOrDuration> </dcterms:extent>										
入力レベル	推奨										

Type [dcterms:type]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/type
QName	dcterms:type
定義の発生源	DCMI Metadata Terms

	http://purl.org/dc/terms/											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Type											
使用法	当該情報資源の内容の性質又はジャンルをここに収める。DCMI Type Vocabulary、NII Type から統制語を選択する場合に使用する。											
補足説明	NDL Type から選択する場合は、Material Type を使用する。任意の文字列で記述する場合は、ここに収めることとする。											
語彙符号化スキームの使用	dcterms:DCMIType, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/DCMIType dcndl:NIIType, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NIIType											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
可	可	不可	不可									
表現例 (RDF/XML)	<dcterms:type rdf:resource="http://purl.org/dc/dcmitype/Image" rdfs:label="Image"/>											
入力レベル	推奨											

Material Type [dcndl:materialType]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/materialType
QName	dcndl:materialType
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Material Type
使用法	当該情報資源の資料種別をここに収める。語彙符号化スキームの NDL Type を用いて表現する際に使用する。
補足説明	
語彙符号化スキームの使用	dcndl:NDLType, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NDLType

値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:materialType rdf:resource="http://ndl.go.jp/ndctype/MicroForm" rdfs:label="マイクロ資料"/>			
入力レベル	推奨			

Price [dcndl:price]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/price			
QName	dcndl:price			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Price			
使用法	当該情報資源の販売価格をここに収める。			
補足説明				
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:price>2000 円(税込)</dcndl:price>			
入力レベル	推奨			

4.1.12 識別に関する語彙

Identifier [dcterms:identifier]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/identifier
QName	dcterms:identifier

定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Identifier
使用法	各種識別子をここに収める。
補足説明	構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することが望ましい。URI により識別子を表現する場合は、See Also を使用する。
語彙符号化スキームの使用	指定なし

値の記述形式				
	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	dcndl:BRNO dcndl:CODEN dcndl:ErrorISBN dcndl:GPOCN dcndl:GPOBibNO dcndl:IncorrectISSN dcndl:IncorrectISSNL dcndl:ISBN dcndl:ISMN dcndl:ISRN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:JPNO dcndl:KAKENHINO dcndl:KNMARCNO dcndl:NIIBibID dcndl:NDLBibID dcndl:NDLJP dcndl:NSMARCNO dcndl:OCLCNO dcndl:OPLMARCNO dcndl:PBNO dcndl:PLNO dcndl:RIS502 dcndl:RLINNO dcndl:StandardNO dcndl:TRCMARCNO dcndl:TRNO dcndl:UKMARCNO dcndl:UNDS dcndl:UNSN	不可

	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>可</td> <td>dcndl:USMARCNO dcndl:DOI dcndl:SICI dcterms:URI</td> <td>不可</td> </tr> </table>	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	可	可	dcndl:USMARCNO dcndl:DOI dcndl:SICI dcterms:URI	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
可	可	dcndl:USMARCNO dcndl:DOI dcndl:SICI dcterms:URI	不可						
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/SICI">info:sici/1046-8188(199501)13:1<69:FTTHBI>2.0.TX;2-4</dcterms:relation></pre>								
入力レベル	あれば必須								

Bibliographic Citation [dcterms:bibliographicCitation]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/bibliographicCitation										
QName	dcterms:bibliographicCitation										
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Bibliographic Citation										
使用法	当該情報資源を参照・識別するための簡略な書誌記述をここに収める。										
補足説明	簡略な書誌的記述の形式としては、「SIST02 科学技術情報流通技術基準参照文献の書き方」形式などが考えられる。 記述対象リソースが雑誌記事である場合は、「雑誌記事の特性に関する語彙」の各語彙を使用するのが望ましい。										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可		
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	不可								
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcterms:bibliographicCitation>ESOP, v.2, no. 1, Apr. 2003, p.</pre>										

	5-8</dcterms:bibliographicCitation>
入力レベル	選択

4.1.13 関係に関する語彙

Relation [dcterms:relation]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/relation										
QName	dcterms:relation										
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Relation										
使用法	関連する情報資源の URI や識別子をここに収める。										
補足説明	参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可</td> <td>可</td> <td>dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI</td> <td>可</td> </tr> </tbody> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	可								
表現例 (RDF/XML)	<p>表現例(1)</p> <pre><dcterms:relation rdf:resource="http://example.org/elsewhere/" /></pre> <p>表現例(2)</p> <pre><dcterms:relation rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/SICI">info:sici/1046-8188(199501)13:1<69:FTTHBI>2.0.TX;2-4</dcterms:relation></pre>										

入力レベル	選択
-------	----

Is Version Of [dcterms:isVersionOf]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/isVersionOf										
QName	dcterms:isVersionOf										
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Is Version Of										
使用法	参照先の情報資源の異版であることを示す。										
補足説明	<p>改訂版等、内容が異なる情報資源を収める。当該情報資源以前の版の識別子、URI をここに収める。</p> <p>公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。</p> <p>参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。</p>										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可</td> <td>可</td> <td> dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI </td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可								
表現例 (RDF/XML)	Relation の表現例を参照。										
入力レベル	選択										

Has Version [dcterms:hasVersion]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/hasVersion										
QName	dcterms:hasVersion										
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Has Version										
使用法	参照先の情報資源を異版として持つことを示す。										
補足説明	<p>改訂版等、内容が異なる情報資源を収める。当該情報資源以降の版の識別子、URI をここに収める。同一内容のホームページの他言語版等、参照先情報資源との順序性のないものはここに収める。</p> <p>公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。</p> <p>参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。</p>										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可</td> <td>可</td> <td> dcndi:DOI dcndi:ISBN dcndi:ISSN dcndi:ISSNL dcndi:SICI dcndi:JPNO dcterms:URI </td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	可	可	dcndi:DOI dcndi:ISBN dcndi:ISSN dcndi:ISSNL dcndi:SICI dcndi:JPNO dcterms:URI	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
可	可	dcndi:DOI dcndi:ISBN dcndi:ISSN dcndi:ISSNL dcndi:SICI dcndi:JPNO dcterms:URI	不可								
表現例 (RDF/XML)	Relation の表現例を参照。										
入力レベル	選択										

Is Replaced By [dcterms:isReplacedBy]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/isReplacedBy
QName	dcterms:isReplacedBy

定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Is Replaced By										
使用法	参照先の情報資源によって置換されていることを示す。										
補足説明	<p>たとえば、ホームページの更新前の版、法律の改正前の版はここに記録する。</p> <p>公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。</p> <p>参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。</p>										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可</td> <td>可</td> <td> dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI </td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可								
表現例 (RDF/XML)	Relation の表現例を参照。										
入力レベル	選択										

Replaces [dcterms:replaces]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/replaces
QName	dcterms:replaces
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Replaces

使用法	参照先の情報資源を置換することを示す。											
補足説明	たとえば、ホームページの更新版、法律の改正版等はここに記録する。 公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。 参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可</td> <td>可</td> <td>dcnd!:DOI dcnd!:ISBN dcnd!:ISSN dcnd!:ISSNL dcnd!:SICI dcnd!:JPNO dcterms:URI</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	可	可	dcnd!:DOI dcnd!:ISBN dcnd!:ISSN dcnd!:ISSNL dcnd!:SICI dcnd!:JPNO dcterms:URI	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
可	可	dcnd!:DOI dcnd!:ISBN dcnd!:ISSN dcnd!:ISSNL dcnd!:SICI dcnd!:JPNO dcterms:URI	不可									
表現例 (RDF/XML)	Relation の表現例を参照。											
入力レベル	選択											

Is Required By [dcterms:isRequiredBy]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/isRequiredBy
QName	dcterms:isRequiredBy
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Is Required By
使用法	参照先の情報資源にとって必要であることを示す。
補足説明	たとえば、当該情報資源が参照先情報資源の再生に必要なソフトウェアである場合に記録する。 公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。

	参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。								
語彙符号化スキームの使用	指定しない								
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可</td> <td>可</td> <td>dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可						
表現例 (RDF/XML)	Relation の表現例を参照。								
入力レベル	選択								

Requires [dcterms:requires]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/requires
QName	dcterms:requires
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Requires
使用法	参照先の情報資源を必要とすることを示す。
補足説明	たとえば、当該情報資源が補遺である場合に、本体の情報資源を記録する。公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。 参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可
表現例 (RDF/XML)	Relation の表現例を参照。			
入力レベル	選択			

Is Part Of [dcterms:isPartOf]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/isPartOf
QName	dcterms:isPartOf
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Is Part Of
使用法	参照先の情報資源の一部分であることを示す。
補足説明	たとえば、当該情報資源が雑誌記事である場合、雑誌名の識別子等をここに収める。 公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。 参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可
表現例 (RDF/XML)	Relation の表現例を参照。			
入力レベル	選択			

Has Part [dcterms:hasPart]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/hasPart
QName	dcterms:hasPart
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Has Part
使用法	参照先の情報資源をその一部分として持つことを示す。
補足説明	公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。 参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可
表現例 (RDF/XML)	Relation の表現例を参照。			
入力レベル	選択			

Is Referenced By [dcterms:isReferencedBy]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/isReferencedBy
QName	dcterms:isReferencedBy
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Is Referenced By
使用法	参照先の情報資源によって引用又は参照されていることを示す。
補足説明	公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。 参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可
表現例 (RDF/XML)	Relation の表現例を参照。			
入力レベル	選択			

References [dcterms:references]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/references
QName	dcterms:references
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	References
使用法	参照先の情報資源を引用又は参照していることを示す。
補足説明	公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。 参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可
表現例 (RDF/XML)	Relation の表現例を参照。			
入力レベル	選択			

Is Format Of [dcterms:isFormatOf]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/isFormatOf
QName	dcterms:isFormatOf
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Is Format Of
使用法	参照先の情報資源の別の記録形式であることを示す。
補足説明	公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。 参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可
表現例 (RDF/XML)	Relation の表現例を参照。			
入力レベル	選択			

Has Format [dcterms:hasFormat]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/hasFormat
QName	dcterms:hasFormat
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Has Format
使用法	参照先の情報資源を別の記録形式として持つことを示す。
補足説明	公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。 参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可
表現例 (RDF/XML)	Relation の表現例を参照。			
入力レベル	選択			

Conforms To [dcterms:conformsTo]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/conformsTo
QName	dcterms:conformsTo
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Conforms To
使用法	参照先の情報資源に準拠していることを示す。
補足説明	公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。 参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	不可
表現例 (RDF/XML)	Relation の表現例を参照。			
入力レベル	選択			

Source [dcterms:source]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/source
QName	dcterms:source
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Source
使用法	当該情報資源が作成される源となった情報資源への参照を行う。
補足説明	<p>記述対象が非デジタル化資料をデジタル化した情報資源である場合、原資料のメタデータの URI をここに収める。また、必要に応じて、識別子等の原資料の情報をここに収めることが可能である。</p> <p>公式に管理されている識別体系による文字列又は数字を記録することを推奨する。</p> <p>参照先の情報資源が URI を持つ場合には、リソースの URI 参照を行うことが望ましい。構文符号化スキームを用いて、情報資源の識別子を表現することも可能である。</p>
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	可	可	dcndl:DOI dcndl:ISBN dcndl:ISSN dcndl:ISSNL dcndl:SICI dcndl:JPNO dcterms:URI	可
表現例 (RDF/XML)	<dcterms:source rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/isbn/978-4-10-353423-5"/>			
入力レベル	推奨			

See Also [rdfs:seeAlso]

プロパティ URI	http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema#seeAlso
QName	rdfs:seeAlso
定義の発生源	RDF Vocabulary Description Language 1.0: RDF Schema http://www.w3.org/2000/01/rdf-schema
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	See Also
使用法	<p>「をも見よ参照」として使用する。主に、当該情報資源に付与されている識別子 (JP 番号、ISBN、ISSN、OCLC 番号等) の URI を収める場合に使用する。識別子を構文符号化スキームを用いて表現する場合には、Identifier を使用する。JP 番号、ISBN、ISSN、ISSN-L の表現には、それぞれ当館で独自に定義している URI を使用する。</p> <p>JP 番号: http://id.ndl.go.jp/jpno/値</p> <p>ISBN: http://id.ndl.go.jp/isbn/値</p> <p>ISSN: http://id.ndl.go.jp/issn/値</p> <p>ISSN-L: http://id.ndl.go.jp/issnl/値</p>
補足説明	
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	可	不可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	表現例(1) <code><rdfs:seeAlso rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/jpno/21727597"/></code> 表現例(2) <code><rdfs:seeAlso rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/isbn/978-4-10-353423-5"/></code> 表現例(3) <code><rdfs:seeAlso rdf:resource="http://id.ndl.go.jp/issn/0525-1877"/></code>			
入力レベル	推奨			

Same As [owl:sameAs]

プロパティ URI	http://www.w3.org/2002/07/owl#sameAs			
QName	owl:sameAs			
定義の発生源	OWL Web Ontology Language http://www.w3.org/2002/07/owl			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Same As			
使用法	当該情報資源の一次情報の URI をここに収める。			
補足説明	記述対象となる情報資源そのものに直接アクセスできる URI をここに収める。たとえば記述対象がオンライン資料である場合、その URL をここに収める。			
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	可	不可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<code><owl:sameAs rdf:resource="一次資料の URI"/></code>			
入力レベル	推奨			

4.1.14 範囲に関する語彙

Coverage [dcterms:coverage]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/coverage										
QName	dcterms:coverage										
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Coverage										
使用法	当該情報資源の内容に関わる地名や座標といった地理情報、及び時代や日付といった時間情報をここに収める。										
補足説明	適切な下位プロパティがある場合は、そちらに収める。										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URIによる記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>			URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	不可								
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcterms:coverage> <dcterms:LocationPeriodOrJurisdiction > <rdf:value>Upstate New York</rdf:value> </dcterms:LocationPeriodOrJurisdiction > </dcterms:coverage></pre>										
入力レベル	選択										

Spatial [dcterms:spatial]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/spatial		
QName	dcterms:spatial		
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/		
語彙のタイプ	プロパティ		
表示名	Spatial		
使用法	当該情報資源の地理や場所に関する情報をここに収める。情報資源の知的		

	内容に関わる地理情報を記録する際に使用する。この場合、Subject の値と重複することも可能である。								
補足説明	以下の構文符号化スキームを用いて表現するのが望ましい。								
語彙符号化スキームの使用	dcterms:TGN, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/TGN								
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>dcterms:Box dcterms:ISO3166 dcterms:Point dcndl:JISX0304 dcndl:JISX0402 dcndl:JISX0410 dcndl:ICNO dcndl:NCNO dcndl:UTMNO</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	dcterms:Box dcterms:ISO3166 dcterms:Point dcndl:JISX0304 dcndl:JISX0402 dcndl:JISX0410 dcndl:ICNO dcndl:NCNO dcndl:UTMNO	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
不可	可	dcterms:Box dcterms:ISO3166 dcterms:Point dcndl:JISX0304 dcndl:JISX0402 dcndl:JISX0410 dcndl:ICNO dcndl:NCNO dcndl:UTMNO	不可						
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcterms:spatial> <dcterms:Location> <rdf:value rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/ISO3166">jp</rdf:value> </dcterms:Location> </dcterms:spatial></pre>								
入力レベル	選択								

Temporal [dcterms:temporal]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/temporal
QName	dcterms:temporal
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Temporal
使用法	当該情報資源の時代や日付に関する情報をここに収める。情報資源の知的

	内容に関する時間情報を記録する際に使用する。この場合、Subject の値と重複することも可能である。											
補足説明	以下の構文符号化スキームを使用するのが望ましい。											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>dcterms:Period dcterms:W3CDTF</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	dcterms:Period dcterms:W3CDTF	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	dcterms:Period dcterms:W3CDTF	不可									
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcterms:temporal> <dcterms:PeriodOfTime> <rdf:value rdf:datatype="http://purl.org/dc/terms/W3CDTF">2001-09-11</rdf:value> </dcterms:PeriodOfTime> </dcterms:temporal></pre>											
入力レベル	選択											

4.1.15 逐次刊行物の特性に関する語彙

Publication Periodicity [dcndl:publicationPeriodicity]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/publicationPeriodicity
QName	dcndl:publicationPeriodicity
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Publication Periodicity
使用法	逐次刊行物の刊行頻度をここに収める。
補足説明	
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcndl:publicationPeriodicity> <dcterms:Frequency> <rdf:value>週刊</rdf:value> </dcterms:Frequency> </dcndl:publicationPeriodicity></pre>			
入力レベル	推奨			

Publication Status [dcndl:publicationStatus]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/publicationStatus			
QName	dcndl:publicationStatus			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Publication Status			
使用法	継続刊行中、刊行終了等、逐次刊行物の刊行状態に関する情報をここに収める。			
補足説明				
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcndl:publicationStatus>刊行終了</dcndl:publicationStatus></pre>			
入力レベル	推奨			

Volume Range [dcndl:volumeRange]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/volumeRange										
QName	dcndl:volumeRange										
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Volume Range										
使用法	所蔵の有無に関わらない、当該逐次刊行物の初号から終号までの巻次及び年月次の情報をここに収める。										
補足説明	所蔵する逐次刊行物の巻次・年月次に関する情報については、Holding Issue を使用する。										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	不可								
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:volumeRange>1 号(明治 33 年 1 月) - 1240 号(平成 14 年 12 月) </dcndl:volumeRange>										
入力レベル	推奨										

4.1.16 博士論文の特性に関する語彙

Degree Name [dcndl:degreeName]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/degreeName		
QName	dcndl:degreeName		
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms		
語彙のタイプ	プロパティ		
表示名	Degree Name		
使用法	博士論文の学位分野名をここに収める。		
補足説明			

語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:degreeName>博士(医学)</dcndl:degreeName>			
入力レベル	推奨			

Dissertation Number [dcndl:dissertationNumber]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/dissertationNumber			
QName	dcndl:dissertationNumber			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Dissertation Number			
使用法	博士論文の報告番号をここに収める。			
補足説明				
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:dissertationNumber>甲第 8546 号</dcndl:dissertationNumber>			
入力レベル	推奨			

4.1.17 雑誌記事の特性に関する語彙

Issue [dcndl:issue]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/issue										
QName	dcndl:issue										
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Issue										
使用法	当該情報資源の属する刊行物の通号をここに収める。										
補足説明	当該情報資源が雑誌記事である場合、刊行物の通号をここに記録する。										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	不可								
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:issue>10</dcndl:issue>										
入力レベル	推奨										

Number [dcndl:number]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/number		
QName	dcndl:number		
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms		
語彙のタイプ	プロパティ		
表示名	Number		
使用法	当該情報資源の属する刊行物の号をここに収める。		
補足説明	当該情報資源が雑誌記事である場合、刊行物の号をここに記録する。		
語彙符号化スキームの使用	指定しない		

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:number>3</dcndl:number>			
入力レベル	推奨			

Publication Name [dcndl:publicationName]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/publicationName			
QName	dcndl:publicationName			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Publication Name			
使用法	当該情報資源の属する刊行物名をここに収める。			
補足説明	当該情報資源が雑誌記事である場合、雑誌名をここに記録する。			
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	可
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:publicationName>文芸春秋</dcndl:publicationName>			
入力レベル	推奨			

Publication Volume [dcndl:publicationVolume]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/publicationVolume			
QName	dcndl:publicationVolume			
定義の発生源	NDL Metadata Terms			

	http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Publication Volume											
使用法	当該情報資源の属する刊行物の巻をここに収める。											
補足説明	当該情報資源が雑誌記事である場合、属する刊行物の巻をここに記録する。											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URIによる記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>可</td> </tr> </table>				URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	可
URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	可									
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:publicationVolume>10</dcndl:publicationVolume>											
入力レベル	推奨											

Page Range [dcndl:pageRange]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/pageRange											
QName	dcndl:pageRange											
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Page Range											
使用法	当該情報資源が掲載されているページの範囲をここに収める。											
補足説明												
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URIによる記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:pageRange>68~75</dcndl:pageRange>											

入力レベル	推奨
-------	----

4.1.18 デジタル化した資料の特性に関する語彙

Digitized Publisher [dcndl:digitizedPublisher]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/digitizedPublisher											
QName	dcndl:digitizedPublisher											
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Digitized Publisher											
使用法	当該情報資源をデジタル化した実体をここに収める。											
補足説明												
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcndl:digitizedPublisher> <foaf:Agent> <foaf:name>国立国会図書館</foaf:name> </foaf:Agent> </dcndl:digitizedPublisher></pre>											
入力レベル	推奨											

Date Digitized [dcndl:dateDigitized]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/dateDigitized		
QName	dcndl:dateDigitized		
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms		
語彙のタイプ	プロパティ		

表示名	Date Digitized								
使用法	当該資料をデジタル化した日付をここに収める。								
補足説明	構文符号化スキーム W3C-DTF を用いて表現するのが望ましい。								
語彙符号化スキームの使用	指定しない								
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>dcterms:W3CDTF</td> <td>不可</td> </tr> </table>	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	dcterms:W3CDTF	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
不可	可	dcterms:W3CDTF	不可						
表現例 (RDF/XML)	Date の表現例を参照。								
入力レベル	選択								

4.1.19 情報資源の利用・入手に関する語彙

Audience [dcterms:audience]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/audience								
QName	dcterms:audience								
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/								
語彙のタイプ	プロパティ								
表示名	Audience								
使用法	一般、児童等、当該情報資源の利用対象者をここに収める。								
補足説明									
語彙符号化スキームの使用	指定しない								
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
不可	可	不可	不可						
表現例 (RDF/XML)	<dcterms:audience> <dcterms:AgentClass>								

	<rdf:value>一般</rdf:value> </dcterms:AgentClass> </dcterms:audience>
入力レベル	選択

Access Rights [dcterms:accessRights]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/accessRights										
QName	dcterms:accessRights										
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Access Rights										
使用法	当該情報資源そのものへのアクセス制限、プライバシーセキュリティ等のポリシーをここに収める。										
補足説明											
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URIによる記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>不可</td> </tr> </table> <p>構文符号化スキームによる記述を「可」としているが、具体的なスキームについては未定。</p>			URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	可	不可
URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	可	不可								
表現例 (RDF/XML)											
入力レベル	推奨										

Availability [dcndl:availability]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/availability		
QName	dcndl:availability		
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms		
語彙のタイプ	プロパティ		

表示名	Availability								
使用法	「ILL可」、「複写申込み可」、「オンライン利用可」等、当該情報資源の二次的・副次的な入手可能性をここに収める。								
補足説明									
語彙符号化スキームの使用	指定しない								
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URIによる記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>不可</td> </tr> </table> <p>構文符号化スキームによる記述を「可」としているが、具体的なスキームについては未定。</p>	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	可	不可
URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
不可	可	可	不可						
表現例(RDF/XML)									
入力レベル	推奨								

Rights [dcterms:rights]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/rights								
QName	dcterms:rights								
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/								
語彙のタイプ	プロパティ								
表示名	Rights								
使用法	著作権者以外の権利管理に関する情報をここに収める。								
補足説明									
語彙符号化スキームの使用	指定しない								
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URIによる記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述						
不可	可	不可	不可						
表現例(RDF/XML)	<dcterms:rights>文化庁長官裁定有り</dcterms:rights>								

入力レベル	選択
-------	----

Rights Holder [dcterms:rightsHolder]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/terms/rightsHolder										
QName	dcterms:rightsHolder										
定義の発生源	DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Rights Holder										
使用法	著作権者名をここに収める。										
補足説明											
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	不可								
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcterms:rightsHolder> <foaf:Agent> <foaf:name>国立国会図書館</foaf:name> </foaf:Agent> </dcterms:rightsHolder></pre>										
入力レベル	選択										

4.1.20 その他の語彙

Member Of [dcam:memberOf]

プロパティ URI	http://purl.org/dc/dcam/memberOf
QName	dcam:memberOf
定義の発生源	DCMI Abstract Model http://purl.org/dc/dcam/
語彙のタイプ	プロパティ

表示名	Member Of
使用法	当該情報資源と語彙符号化スキームの関係を示す。当該情報資源が、語彙符号化スキームで表される集合の一部であることを示す。
補足説明	
語彙符号化スキームの使用	dcndl:BSH, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/BSH dcndl:GHQSCAP, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/GHQSCAP dcndl:MCJ, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/MCJ dcndl:NDC, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NDC dcndl:NDC8, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NDC8 dcndl:NDC9, NDL Metadata Terms http://id.ndl.go.jp/class/ndc9/ dcndl:NDLC, NDL Metadata Terms http://id.ndl.go.jp/class/ndlc dcndl:NDLNH, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NDLNH dcndl:NDLSH, NDL Metadata Terms http://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh dcndl:NIISubject, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NIISubject dcndl:USCAR, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/USCAR dcterms:DDC, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/DDC dcterms:LCC, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/LCC dcterms:LCSH, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/LCSH dcterms:MESH, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/MESH dcterms:NLM, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/NLM

	dcterms:UDC, DCMI Metadata Terms http://purl.org/dc/terms/UDC			
値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcterms:subject> <rdf:Description> <dcam:memberOf rdf:resource="http://purl.org/dc/terms/DDC"/> <rdf:value>分類記号</rdf:value> </rdf:Description> </dcterms:subject></pre>			
入力レベル	推奨			

4.2 人を記述対象とする語彙

Date Granted [dcndl:dateGranted]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/dateGranted			
QName	dcndl:dateGranted			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Date Granted			
使用法	博士号の授与年月日をここに収める。			
補足説明	構文符号化スキーム W3C-DTF を用いて表現するのが望ましい。			
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	dcterms:W3CDTF	不可
表現例 (RDF/XML)	Date の表現例を参照。			

入力レベル	推奨
-------	----

Degree Grantor [dcndl:degreeGrantor]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/degreeGrantor										
QName	dcndl:degreeGrantor										
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Degree Grantor										
使用法	博士号の授与大学をここに収める。										
補足説明	読みがある場合は、Transcription を用い、Degree Grantor の値とセットで表現する。 また、授与大学のコードがある場合には、Degree Grantor の値・読みとセットで表現をすることができる。										
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>dcndl:JISX0408</td> <td>可</td> </tr> </tbody> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	dcndl:JISX0408	可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	dcndl:JISX0408	可								
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcndl:degreeGrantor> <foaf:Agent> <foaf:name>京都大学</foaf:name> <dcndl:transcription>キョウト ダイガク</dcndl:transcription> <dcterms:identifier rdf:datatype="http://ndl.go.jp/dcndl/terms/JISX0408">0048</dcterms:identifier> </foaf:Agent> </dcndl:degreeGrantor></pre>										
入力レベル	推奨										

4.3 情報資源の個体を記述対象とする語彙

Holding Agent [dcndl:holdingAgent]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/holdingAgent										
QName	dcndl:holdingAgent										
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Holding Agent										
使用法	当該情報資源を保有する所蔵館名をここに収める。										
補足説明											
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	不可								
表現例 (RDF/XML)	<pre><dcndl:holdingAgent> <foaf:Agent> <foaf:name>国立国会図書館</foaf:name> </foaf:Agent> </dcndl:holdingAgent></pre>										
入カレベル	推奨										

Call Number [dcndl:callNumber]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/callNumber		
QName	dcndl:callNumber		
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms		
語彙のタイプ	プロパティ		
表示名	Call Number		
使用法	当該情報資源を保有する所蔵館における請求記号をここに収める。		
補足説明			

語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:callNumber>/014.49 /コク /877375</dcndl:callNumber>			
入力レベル	推奨			

Holding Issues [dcndl:holdingIssues]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/holdingIssues			
QName	dcndl:holdingIssues			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Holding Issues			
使用法	所蔵する逐次刊行物の巻次・年月次をここに収める。			
補足説明	所蔵の有無に関わらない、当該逐次刊行物の初号から終号までの巻次及び年月次の情報については、Volume Range を使用する。			
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:holdingIssues>263 号(昭和 46 年 7 月) - </dcndl:holdingIssues>			
入力レベル	推奨			

Absent Issues [dcndl:absentIssues]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/absentIssues
-----------	---

QName	dcndl:absentIssues											
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Absent Issues											
使用法	所蔵する逐次刊行物の欠号に関する情報をここに収める。											
補足説明												
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:absentIssues>5 巻 3,4 号,12-15 巻,22 巻 11,12 号,23 巻 5 号,438</dcndl:absentIssues>											
入力レベル	推奨											

4.4 情報資源のメタデータを記述対象とする語彙

Cataloging Rule [dcndl:catalogingRule]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/catalogingRule
QName	dcndl:catalogingRule
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Cataloging Rule
使用法	当該情報資源のメタデータ記述に採用した目録規則をここに収める。
補足説明	
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:catalogingRule> 日本目録規則 1987年版改訂3版</dcndl:catalogingRule>			
入力レベル	推奨			

Record Status [dcndl:recordStatus]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/recordStatus			
QName	dcndl:recordStatus			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Record Status			
使用法	新規・更新・削除等のメタデータの状態に関する情報をここに収める。			
補足説明				
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:recordStatus>新規</dcndl:recordStatus>			
入力レベル	推奨			

Record [dcndl:record]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/record
QName	dcndl:record

定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Record											
使用法	参照先に関係のあるメタデータの URI を収める。メタ・メタデータからメタデータへ、個体データからメタデータへのリンクに使用する。											
補足説明												
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	可	不可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
可	不可	不可	不可									
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:record rdf:resource="メタデータの URI"/>											
入力レベル	あれば必須											

5 拡張的な語彙の用法に関する規定

5.1 情報資源を記述対象とする語彙

5.1.1 RDF 形式で表現できない場合の語彙

Title Transcription [dcndl:titleTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/titleTranscription
QName	dcndl:titleTranscription
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Title Transcription
使用法	Title の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Title の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Title Transcription を使用する。
補足説明	
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (XML)	<dcterms:title>セマンティック HTML/XHTML</dcterms:title> <dcndl:titleTranscription> セ マ ン テ ィ ッ ク HTML XHTML</dcndl:titleTranscription> <dcndl:titleTranscription>セマンティック エイチティーエムエル エックスエイ チティーエムエル</dcndl:titleTranscription>			
入力レベル	選択			

Alternative Transcription [dcndl:alternativeTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/alternativeTranscription			
QName	dcndl:alternativeTranscription			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Alternative Transcription			
使用法	Alternative の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Alternative の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Alternative Transcription を使用する。			
補足説明				
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。			
入力レベル	選択			

Series Title Transcription [dcndl:seriesTitleTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/seriesTitleTranscription										
QName	dcndl:seriesTitleTranscription										
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Series Title Transcription										
使用法	Series Title の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Series Title の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Series Title Transcription を使用する。										
補足説明											
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	不可								
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。										
入力レベル	選択										

Series Alternative Transcription [dcndl:seriesAlternativeTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/seriesAlternativeTranscription		
QName	dcndl:seriesAlternativeTranscription		
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms		
語彙のタイプ	プロパティ		
表示名	Series Alternative Transcription		
使用法	Series Alternative の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Series Alternative の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Series Alternative Transcription を使用する。		
補足説明			
語彙符号化スキームの使用	指定しない		

値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例(XML)	Title Transcription の表現例を参照。			
入力レベル	選択			

Series Volume [dcndl:seriesVolume]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/seriesVolume			
QName	dcndl:seriesVolume			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Series Volume			
使用法	シリーズの巻次又は部編番号をここに収める。			
補足説明	Series Title に区切り記号を用いて収めず、別個に記録する際に使用する。			
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例(XML)	<dcndl:seriesVolume>第 1 巻</dcndl:seriesVolume>			
入力レベル	選択			

Series Volume Transcription [dcndl:seriesVolumeTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/seriesVolumeTranscription			
QName	dcndl:seriesVolumeTranscription			
定義の発生源	NDL Metadata Terms			

	http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Series Volume Transcription											
使用法	Series Volume を区切り記号を用いて Series Title に収めることはせず、別個に記録する場合に、Series Volume の読み又は翻字形をここに収める。											
補足説明												
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									
表現例 (XML)	<dcndl:seriesVolumeTranscription>1</dcndl:seriesVolumeTranscription>											
入力レベル	選択											

Series Volume Title [dcndl:seriesVolumeTitle]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/seriesVolumeTitle											
QName	dcndl:seriesVolumeTitle											
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Series Volume Title											
使用法	シリーズの部編名をここに収める。											
補足説明	Series Title に区切り記号を用いて収めず、別個に記録する際に使用する。											
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									

表現例 (XML)	<dcndl:seriesVolumeTitle>農業編</dcndl:seriesVolumeTitle>
入力レベル	選択

Series Volume Title Transcription [dcndl:seriesVolumeTitleTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/seriesVolumeTitleTranscription										
QName	dcndl:seriesVolumeTitleTranscription										
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Series Volume Title Transcription										
使用法	Series Volume Title を区切り記号を用いて Series Title に収めることはせず、別個に記録する場合に、Series Volume Title の読み又は翻字形をここに収める。										
補足説明											
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	不可								
表現例 (XML)	<dcndl:seriesVolumeTitleTranscription> ノ ウ ギ ヨ ウ ヘ ン </dcndl:seriesVolumeTitleTranscription>										
入力レベル	選択										

Part Title Transcription [dcndl:partTitleTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/partTitleTranscription		
QName	dcndl:partTitleTranscription		
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms		
語彙のタイプ	プロパティ		
表示名	Part Title Transcription		

使用法	Part Title の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Part Title の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Part Title Transcription を使用する。											
補足説明												
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。											
入力レベル	選択											

Volume Title Transcription [dcndl:volumeTitleTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/volumeTitleTranscription											
QName	dcndl:volumeTitleTranscription											
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Volume Title Transcription											
使用法	Volume Title の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Volume Title の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Volume Title Transcription を使用する。											
補足説明												
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。											

入力レベル	選択
-------	----

Volume Transcription [dcndl:volumeTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/volumeTranscription										
QName	dcndl:volumeTranscription										
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Volume Transcription										
使用法	Volume の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Volume の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Volume Transcription を使用する。										
補足説明											
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	不可								
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。										
入力レベル	選択										

Alternative Volume Transcription [dcndl:alternativeVolumeTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/alternativeVolumeTranscription		
QName	dcndl:alternativeVolumeTranscription		
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms		
語彙のタイプ	プロパティ		
表示名	Alternative Volume Transcription		
使用法	Alternative Volume の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Alternative Volume の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、		

	Alternative Volume Transcription を使用する。			
補足説明				
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。			
入力レベル	選択			

Alternative Volume Title Transcription [dcndl:alternativeVolumeTitleTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/alternativeVolumeTitleTranscription			
QName	dcndl:alternativeVolumeTitleTranscription			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Alternative Volume Title Transcription			
使用法	Alternative Volume Title の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Alternative Volume Title の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Alternative Volume Title Transcription を使用する。			
補足説明				
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。			
入力レベル	選択			

Creator Transcription [dcndl:creatorTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/creatorTranscription										
QName	dcndl:creatorTranscription										
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms										
語彙のタイプ	プロパティ										
表示名	Creator Transcription										
使用法	Creator の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Creator の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Creator Transcription を使用する。										
補足説明											
語彙符号化スキームの使用	指定しない										
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>			URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述								
不可	可	不可	不可								
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。										
入力レベル	推奨										

Creator Alternative Transcription [dcndl:creatorAlternativeTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/creatorAlternativeTranscription		
QName	dcndl:creatorAlternativeTranscription		
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms		
語彙のタイプ	プロパティ		
表示名	Creator Alternative Transcription		
使用法	Creator Alternative の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Creator Alternative の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Creator Alternative Transcription を使用する。		
補足説明			
語彙符号化スキームの使用	指定しない		

ムの使用				
値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例(XML)	Title Transcription の表現例を参照。			
入力レベル	推奨			

Series Creator Transcription [dcndl:seriesCreatorTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/seriesCreatorTranscription			
QName	dcndl:seriesCreatorTranscription			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Series Creator Transcription			
使用法	Series Creator の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Series Creator の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Series Creator Transcription を使用する。			
補足説明				
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例(XML)	Title Transcription の表現例を参照。			
入力レベル	推奨			

Part Creator Transcription [dcndl:partCreatorTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/partCreatorTranscription
-----------	---

QName	dcndl:partCreatorTranscription											
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Part Creator Transcription											
使用法	Part Creator の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Part Creator の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Part Creator Transcription を使用する。											
補足説明												
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。											
入力レベル	推奨											

Volume Creator Transcription [dcndl:volumeCreatorTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/volumeCreatorTranscription			
QName	dcndl:volumeCreatorTranscription			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Volume Creator Transcription			
使用法	Volume Creator の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Volume Creator の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Volume Creator Transcription を使用する。			
補足説明				
語彙符号化スキームの使用	指定しない			

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。			
入力レベル	推奨			

Edition Creator Transcription [dcndl:editionCreatorTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/editionCreatorTranscription			
QName	dcndl:editionCreatorTranscription			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Edition Creator Transcription			
使用法	Edition Creator の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Edition Creator の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Edition Creator Transcription を使用する。			
補足説明				
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。			
入力レベル	推奨			

ContributorTranscription [dcndl:Contributor Transcription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/contributorTranscription			
QName	dcndl: contributorTranscription			

定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Contributor Transcription											
使用法	Contributor の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Contributor の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Contributor Transcription を使用する。											
補足説明												
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URI による記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。											
入力レベル	推奨											

Publisher Transcription [dcndl:publisherTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/publisherTranscription		
QName	dcndl:publisherTranscription		
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms		
語彙のタイプ	プロパティ		
表示名	Publisher Transcription		
使用法	Publisher の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Publisher の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Publisher Transcription を使用する。		
補足説明			
語彙符号化スキームの使用	指定しない		

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。			
入力レベル	推奨			

Subject Transcription [dcndl:subjectTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/subjectTranscription			
QName	dcndl:subjectTranscription			
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Subject Transcription			
使用法	Subject の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Subject の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Subject Transcription を使用する。 Subject の読み又は翻字形を、語彙符号化スキームを用いて表現することも可能である。(表現例を参照)			
補足説明				
語彙符号化スキームの使用	dcndl:BSH, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/BSH dcndl:NDLNH, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NDLNH dcndl:NDLSH, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/ndlsh dcndl:NIISubject, NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms/NIISubject			
値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可

表現例 (XML)	<pre><dcterms:creator xsi:type="dcndl:NDLNH"> 国 立 国 会 図 書 館 </dcterms:creator> <dcndl:creatorTranscription xsi:type="dcndl:NDLNH">コクリツ コツカイ トシ ヨカン</dcndl:creatorTranscription></pre>
入力レベル	推奨

Degree Grantor Transcription [dcndl:degreeGrantorTranscription]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/degreeGrantorTranscription											
QName	dcndl:degreeGrantorTranscription											
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Degree Grantor Transcription											
使用法	Degree Grantor の読み又は翻字形をここに収める。RDF 形式を用いて、Degree Grantor の値とセットで読み又は翻字形を表現できない場合、Degree Grantor Transcription を使用する。											
補足説明												
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>URI による記述</th> <th>任意の文字列による記述</th> <th>構文符号化スキームによる記述</th> <th>入れ子による記述</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table>				URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									
表現例 (XML)	Title Transcription の表現例を参照。											
入力レベル	選択											

5.2 情報資源のメタデータを記述対象とする語彙

5.2.1 NDL のシステム要件による語彙

Bib Record Category [dcndl:bibRecordCategory]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/bibRecordCategory
QName	dcndl:bibRecordCategory

定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms											
語彙のタイプ	プロパティ											
表示名	Bib Record Category											
使用法	当該メタデータのハーベスト元のデータベース名(ゆにかねっと、児童書総合目録、新聞総合目録等)をここに収める。											
補足説明												
語彙符号化スキームの使用	指定しない											
値の記述形式	<table border="1"> <tr> <td>URIによる記述</td> <td>任意の文字列による記述</td> <td>構文符号化スキームによる記述</td> <td>入れ子による記述</td> </tr> <tr> <td>不可</td> <td>可</td> <td>不可</td> <td>不可</td> </tr> </table>				URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述	不可	可	不可	不可
URIによる記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述									
不可	可	不可	不可									
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:bibRecordCategory>ゆにかねっと</dcndl:bibRecordCategory>											
入力レベル	推奨											

Bibliographic Level [dcndl:bibliographicLevel]

プロパティ URI	http://ndl.go.jp/dcndl/terms/bibliographicLevel
QName	dcndl:bibliographicLevel
定義の発生源	NDL Metadata Terms http://ndl.go.jp/dcndl/terms
語彙のタイプ	プロパティ
表示名	Bibliographic Level
使用法	和図書、雑誌等の当該情報資源の種別をここに収める。
補足説明	
語彙符号化スキームの使用	指定しない

値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	不可	可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<dcndl:bibliographicLevel >和図書</dcndl:bibliographicLevel >			
入力レベル	推奨			

Depiction [foaf:depiction]

プロパティ URI	http://xmlns.com/foaf/0.1/#term_depiction			
QName	foaf:depiction			
定義の発生源	FOAF Vocabulary Specification 0.97 http://xmlns.com/foaf/spec/			
語彙のタイプ	プロパティ			
表示名	Depiction			
使用法	資料のサムネイル画像 URI をここに収める。			
補足説明				
語彙符号化スキームの使用	指定しない			
値の記述形式	URI による記述	任意の文字列による記述	構文符号化スキームによる記述	入れ子による記述
	可	不可	不可	不可
表現例 (RDF/XML)	<foaf:depiction rdf:resource="資料のサムネイル画像 URI "/>			
入力レベル	推奨			